



新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

さんきかい よこはましんみどりそうごうびょういん
医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院
〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271
発行 地域医療連携室 TEL.045-984-6216 (直通)



病気の話「ヘリコバクター ピロリ菌について」

消化器内科 医長 塩沢 牧子

【原因】

多くの方がヘリコバクター ピロリ菌の名前を聞いたことがあるのではないのでしょうか？

この菌が小さい時（5歳以下といわれています）に体の中に入ると、胃の粘膜に棲み着いて、持続的な炎症を引き起こします。その結果、長い年月が経過し「慢性萎縮性胃炎」という状態になります。



ピロリ菌感染は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の主要な原因です。それだけでなく、萎縮した胃粘膜は胃がんのリスクともなり、萎縮が進むにつれてそのリスクは高くなります。そして除菌治療を行うとがんを予防する効果があることが明らかになっており、2013年からはピロリ感染胃炎に対する除菌治療が保険適応となっています。

そもそも胃の中には胃酸があるためほとんどの菌は殺菌されるのですが、ピロリ菌はウレアーゼという物質を出して胃酸を中和してしまうので、胃の中でも生息できてしまうのです。感染経路としては、河川や上下水道からの環境感染と家庭内感染が考えられており、環境が整備された現代の日本では若い世代の感染率は減少してきています。しかし、高齢者にはまだピロリ菌に感染したことがある人は多く、除菌治療が望ましい方は相当数おられます。

【検査】

慢性萎縮性胃炎は、胃炎といっても自覚症状はないため、ピロリ菌の診断のために一度は健康診断で胃の内視鏡検査を受けることをお勧めします。

内視鏡検査の時に胃の組織検査



（生検）を行って、ピロリ菌の存在が確認されることもありますが、多くの場合は血中および内視鏡後に尿中抗体測定、便中ヘリコバクターピロリ抗原検査、尿素呼気試験という検査のいずれかを行って、ヘリコバクターピロリ菌に現時点で感染しているかどうかを確認します（ピロリ菌が感染後自然にいなくなる自然消失や、別の病気で飲んだ薬で偶然除菌される場合もあります）。



健康診断で、内視鏡検査を行わずにピロリ検査（血中抗体測定など）を行うこともありますが、健康保険での除菌治療の前には内視鏡検査を行って、胃の評価を行うことが必要です。

【治療】

除菌するためには、抗生物質を二種類と胃酸を抑える薬を1週間内服します。除菌成功率は9割以上ですが、不成功に終わった場合は抗生剤の種類を変えて2次除菌を行います。



2段階の除菌で約98.0%の成功率が得られます。ただ、萎縮性胃炎の期間が長期にわたる場合には、胃がんのリスクは下がるとはいってもなくなるわけではないことも注意が必要です。

また「ピロリ菌陰性です」と言っても、ピロリ菌に一度も感染したことがない「未感染」の胃とピロリ菌の感染歴があるが現在はいない「既感染」の胃では、胃の病気のリスクが異なるため注意が必要な時があります。除菌成功後も年に一度胃の内視鏡検査を受けることをお勧めします。



4月入職 常勤医師のご紹介

※ ご挨拶と写真は5月号に掲載します。

《内科・循環器科》 山根 英路（やまね えいじ）

● 日本内科学会 認定内科医



診療情報管理室は、患者さま一人ひとりの診療情報を大切に管理する部署です。ただカルテ棚やパソコン上に保管するだけでなく、①診療記録の開示・提供②より良い診療記録を作成するためのチェック③診療記録から得られるデータを分析し、様々な医療統計を作成する業務等を三人の診療情報管理士が行っております。ここ数年、病院等の医療機関の間では「医療の質の向上」という言葉がトレンドになっています。ベッド数が多い、医師の数が多いだけでは質の高い病院とは呼べません。「いかに患者さまに笑顔で帰っていただけるか。」ということを常に考え、目標を掲げ実践する病院が、「質の高い病院」と呼べるでしょう。



当院も常時質の高い医療を提供すべく、職員一同努力しております。診療情報管理室はそれをサポートする形で、様々な医療の質を示す指標を集め、「新緑のQ I」という冊子を毎年作成し、当院のホームページ上で公開しております。興味ございましたら是非ご覧ください。



新緑のQ I



当院で受けたCT・MRI検査は専門医のチェックが入っています

日本における放射線科医の数は世界の最低水準です。放射線科医が常駐する医療機関は全体の20%以下で、大半のCT・MRI検査は放射線科医の監督下で行えておりません。(中島ら日本医放会誌2005)

当院は放射線科の画像診断専門医が関与し、検査の翌日までに読影が可能です。また、主治医からの相談を受け、患者さまの診療方針の確認・決定を行うカンファレンスにも参加し、各診療科医師と連携をしています。

検査結果等は主治医が説明しておりますが、主治医と画像診断専門医でダブルチェックしているため、安心して検査を受ける事が出来ます。

放射線科部長 中地医師 (画像診断専門医) より

患者さまにとって安心・安全な検査を受けていただけるよう、また、臨床の先生方の診療に役立てるよう正確・迅速な画像診断を心懸けて参ります。



緑すこやか健康講座開催

3年ぶりに会場での健康講座を開催します。当院と三保町内科・循環器クリニックの共催です。

日時：2023年5月27日(土) 14:00~16:30開演(開場13:00)

場所：横浜市緑公会堂(緑区寺山町118) ※参加無料です。

後援：緑区役所 福祉保健課

講演① 「循環器病の予防と対処について：変わらない基本と近年の進歩」

講師：小野 文明 三保町内科・循環器クリニック 院長

講演② 「知っておきたい がんのこと・乳がんのこと」

講師：大地 哲也 横浜新緑総合病院 乳腺外科部長

講演③ 「怖い便秘異常」

講師：白井 孝之 横浜新緑総合病院 消化器内科部長

事前申し込み受付中！お申込み・お問い合わせ
横浜新緑総合病院 045-984-2400 (代)



緑すこやか健康講座

参加無料

5/27(土) 14:00~16:30(開場13:00)
横浜市緑公会堂 緑区寺山町118

【共催】
横浜新緑総合病院
三保町内科・循環器クリニック
【後援】
横浜市緑区役所 福祉保健課

講演① 14:00~14:30
「循環器病の予防と対処について：
変わらない基本と近年の進歩」
講師 小野 文明
三保町内科・循環器クリニック 院長

講演② 14:30~15:15
「知っておきたい がんのこと・乳がんのこと」
講師 大地 哲也
横浜新緑総合病院 乳腺外科部長

講演③ 15:15~16:30
「怖い便秘異常」
講師 白井 孝之
横浜新緑総合病院 消化器内科部長

お申込み・お問い合わせ 横浜新緑総合病院
TEL:045-984-2400

横浜新緑総合病院 西科・産婦人科・小児科
三保町内科・循環器クリニック

WEB版みんなの健康講座

※オンライン配信

◇ WEB版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。

5月配信予定 WEB版みんなの健康講座

「日用品による接触皮膚炎(かぶれ)」皮膚科 副部長 松岡 百合子

